

# UBE



Vol.8

## 技術の翼と革新の心。

Wings of technology  
and spirit of innovation.



# 株主通信

2010年4月1日～2010年9月30日

# 株主の皆様へ

“株主通信”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間期の経済情勢は、アジアでは中国を中心として景気拡大が継続し、欧米でも失業率が高止まりながらも景気は持ち直し、世界経済は総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方、国内経済は輸出、個人消費に牽引され景気は緩やかに回復してまいりましたが、夏場以降の急激な円高による減速懸念など、先行きには不透明感が強まりました。

このような状況の下、当社グループは当期を初年度とする3か年の中期経営計画「ステージアップ 2012 ー新たな挑戦ー」の基本方針に基づき、目標の早期達成に向けて業績の向上に取り組んでまいりました。この結果、当中間期における連結業績は増収増益となりました。

今後の経済情勢につきましては、緩やかな回復が続くことが見込まれるものの、世界経済は欧米での信用収縮や高い失業率の継続などから景気回復の停滞が懸念され、国内経済においても、急激な

円高の進行による輸出の低迷、デフレの影響など、事業環境は不透明さを増しており、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

こうした情勢を踏まえ、株主の皆様にはまことに申し訳なく存じますが、中間配当を見送らせていただきたく、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては1株につき5円とさせていただきます。

当社グループは、「ステージアップ 2012 ー新たな挑戦ー」で掲げた目標達成を図り、株主や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認をさらに深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **竹下 道夫**



## CONTENTS

株主の皆様へ	1
中間連結業績ハイライト	2
部門別概況(連結)	3
〈Close-Up UBE〉航空宇宙材料事業	4
トピックス	5
決算の概況(連結)	7
CSR報告書のご案内	9
会社情報	9
株式情報	10

マネジメント・チーム (2010年9月30日現在)



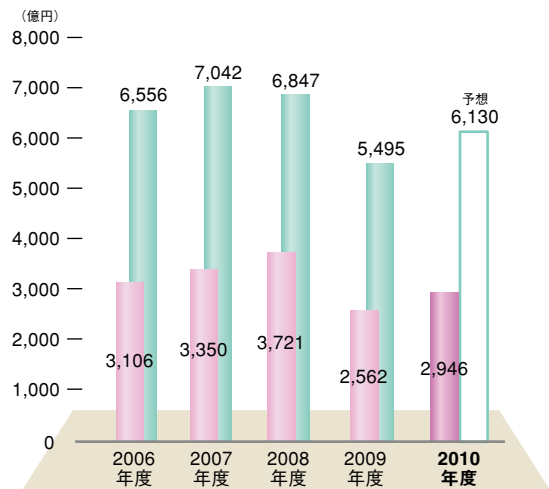
後列左から：糸口栄一執行役員、妙中信之常務執行役員、渡邊史信常務執行役員、松本善臣取締役\*、梅津誠取締役、関谷一真専務執行役員、山本謙専務執行役員  
前列左から：高橋信行専務執行役員、岡田和彦代表取締役、田村浩章取締役会長、竹下道夫代表取締役社長、古川陽道取締役、元田充隆取締役\*

\*社外取締役

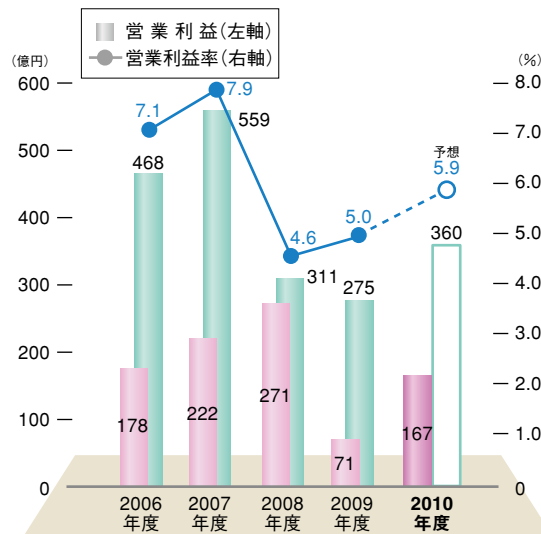
# 中間連結業績ハイライト

■ 通期 ■ 中間期 ● 通期 ● 中間期

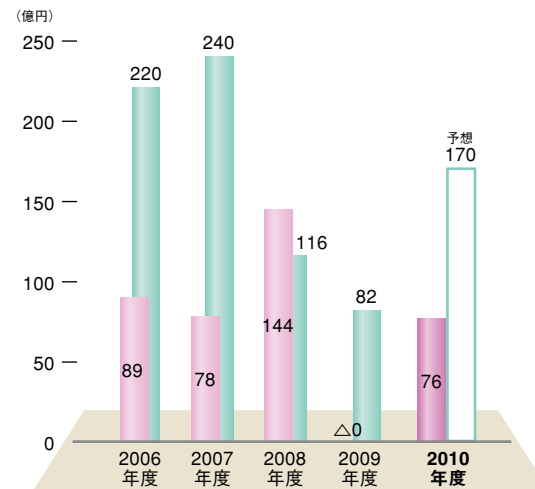
## 売上高



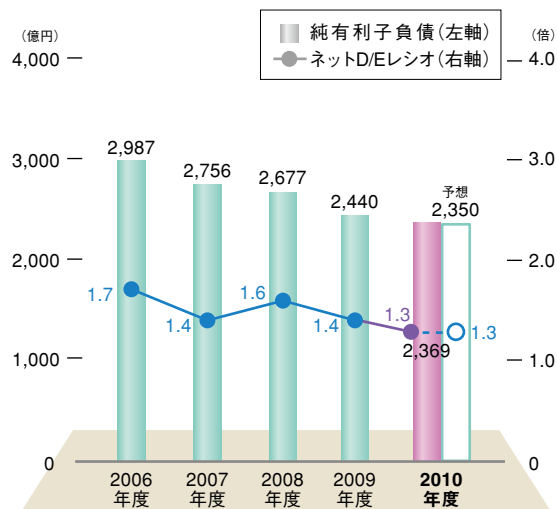
## 営業利益と売上高営業利益率



## 中間(当期)純利益

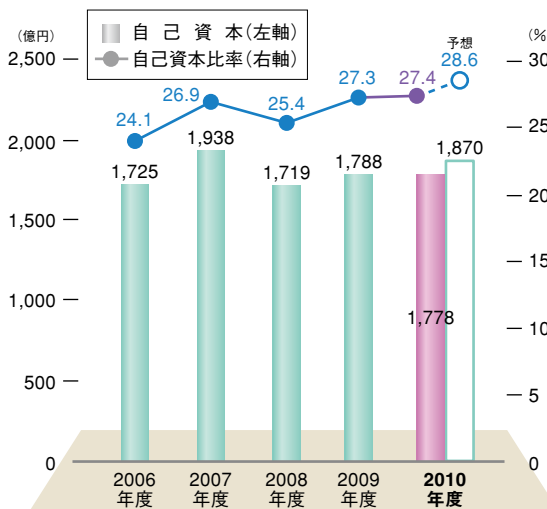


## 純有利子負債とネットD/Eレシオ\*



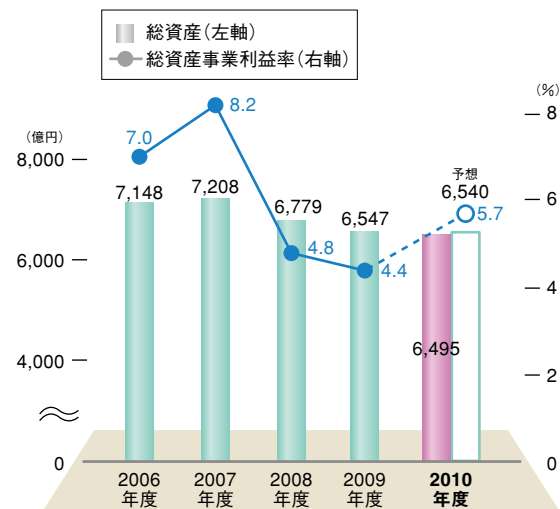
\* ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (= 有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

## 自己資本と自己資本比率\*



\* 自己資本比率 = 自己資本 (= 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産


## 総資産と総資産事業利益率(ROA)\*



\* 総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 (= 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

# 部門別概況(連結)

部門	主要商品	売上高比率	部門別概況
<b>化成品・樹脂</b> 売上高 972億円 (前中間期比33.7%増) 営業利益 56億円 (前中間期比—)	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 合成ゴム</li> <li>● カプロラクタムチェーン               <ul style="list-style-type: none"> <li>● カプロラクタム</li> <li>● ナイロン樹脂</li> <li>● 工業薬品</li> </ul> </li> </ul>	 <b>33%</b>	<p>旺盛な需要に支えられ、カプロラクタム、工業薬品の出荷は好調で、ポリブタジエン(合成ゴム)、ナイロン樹脂の出荷も堅調でした。旺盛な需要環境を反映し、多くの製品で販売価格が上昇し、特にカプロラクタムのスプレッド(製品と原料の値差)は、前年同期に比べ大幅に拡大しました。</p>
<b>機能品・ファイン</b> 売上高 344億円 (前中間期比21.7%増) 営業利益 41億円 (前中間期比253.4%増)	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機能性材料               <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポリイミド</li> <li>● 電池材料(電解液、セパレーター)</li> <li>● 半導体関連・電子材料 (高純度化学薬品、光通信関連)</li> <li>● ガス分離膜</li> <li>● セラミックス</li> <li>● 通信部品</li> </ul> </li> <li>● ファインケミカル</li> </ul>	 <b>12%</b>	<p>リチウムイオン電池用電解液・セパレーター、LED・半導体向け高純度化学薬品、ファインケミカル製品の出荷は好調でした。ポリイミド製品の出荷は薄型テレビ向けフィルムを中心に伸長しました。セラミックス、ガス分離膜の出荷も回復に転じ、前年同期を上回りました。</p>
<b>医薬</b> 売上高 41億円 (前中間期比18.2%減) 営業利益 14億円 (前中間期比38.3%減)	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医薬品(原体、中間体)</li> </ul>	 <b>1%</b>	<p>抗アレルギー剤や血圧降下剤の原体出荷は伸長しましたが、受託医薬品を中心として、その他原体・中間体の出荷は前年同期を下回りました。</p>
<b>建設資材</b> 売上高 955億円 (前中間期比7.0%増) 営業利益 29億円 (前中間期比108.7%増)	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セメント・生コン</li> <li>● 資源リサイクル</li> <li>● 石灰石</li> <li>● 建材関連製品 (セルフレベリング材、左官材、防水材)</li> <li>● カルシア・マグネシア</li> <li>● 機能性無機材料</li> </ul>	 <b>32%</b>	<p>セメント・生コン、建材製品の出荷は、マンション・住宅着工や企業の設備投資の持ち直しにより下げ止まりつつあるものの、前年同期を下回りました。これに対応するため、一層のコストダウンに取り組み、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用も拡大しました。カルシア、マグネシア製品の出荷は鉄鋼関連向けを中心に好調でした。</p>
<b>機械・金属成形</b> 売上高 415億円 (前中間期比7.0%増) 営業利益 11億円 (前中間期比38.5%減)	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 成形機 (ダイカストマシン、射出成形機)</li> <li>● 産機(運搬機、ミル、破砕機)</li> <li>● 橋梁・鉄構</li> <li>● 製鋼品</li> </ul> </li> <li>● アルミホイール</li> </ul>	 <b>14%</b>	<p>機械事業は、中国向け堅型ミルや電力会社向け運搬機など各種産業機械の出荷は堅調でした。一方、自動車産業の設備投資抑制を受け不振が続いていた成形機の出荷は回復基調にあり、前年同期を上回りました。受注は、成形機、産業機械とも、円高と国内外メーカーとの価格競争激化により、厳しい状況で推移しました。製鋼品の出荷は堅調でしたが、円高などの影響を受けました。</p> <p>アルミホイール事業は、ハイブリッド車向けを中心に出荷は増加しましたが、採算は厳しい状況が続きました。</p>

部門	主要商品	売上高比率	部門別概況
<b>エネルギー・環境</b> 売上高 <b>267</b> 億円 (前中間期比3.7%増) 営業利益 <b>12</b> 億円 (前中間期比41.2%減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●石炭</li> <li>●電力</li> </ul>	 <b>9%</b>	販売炭の出荷は、主要顧客である化学、製紙会社向けを中心に堅調で、コールセンター(石炭貯炭場)の取扱い数量においても電力会社向けを中心に好調でした。電力卸供給事業は、売電価格の低下により採算が悪化しました。

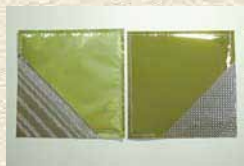
(注)その他の事業及び部門間の連結消去を割愛しているため、売上高比率の合計は100%になっておりません。

## クローズアップ <Close-Up UBE> 航空宇宙材料事業

UBEの育成事業のひとつとして将来性を期待されている「航空宇宙材料事業」をご紹介します。

### 1. 熱制御材料

人工衛星には、衛星機器を宇宙の熱さ寒さから守る防護服のようなサーマルブランケット用に、UBEのポリイミドフィルムが採用されています。7年ぶりに宇宙から帰還して話題になった小惑星探査機「はやぶさ」にも使われました。



多層断熱材サーマルブランケット



はやぶさ(JAXA提供)

### 2. 耐熱コンポジット材料PETI

UBE独自の優れたモノマー技術で、耐熱性・高靱性双方を兼ね備えた画期的な耐熱コンポジット(複合)材料を開発しました。現在、米国のボーイング社とエンジンナセルなどへの実用化に向けて共同開発中です。



耐熱コンポジット材料「PETI 330」

### 3. 発泡ポリイミド

発泡ポリイミド「ユーピレックスフォーム」は、従来の発泡体ではなしえなかった耐熱性・不燃性・耐環境性・脱ガス性を有しており、原子力発電所、護衛艦、航空機分野での採用が進んでいます。今後は設備の増強を図っていきます。



発泡ポリイミド「ユーピレックスフォーム」

### 4. チラノ繊維、チラノヘックス

世界最高の耐熱性(2000℃)を有する炭化ケイ素繊維の「チラノ繊維」、そのコンポジット材料「チラノヘックス」は、次世代航空機のジェットエンジン部材などへの実用化試験が進んでいます。



チラノ繊維

## 2010年度中間期トピックス一覧

- 2010年 4月 「医薬事業部」を設立
- 4月 自社医薬品「カルブロック」と第一三共(株)「オルメテック」を配合した  
高血圧症治療薬「レザルタス配合錠」を同社が発売
- 5月 ブラジルに現地法人設立を決定 **Topics 1**
- 5月 新中期経営計画  
「ステージアップ 2012 -新たなる挑戦-」を発表
- 6月 スペインでポリカーボネートジオールの  
製造設備増強を決定 **Topics 2**
- 6月 明和化成(株)でフェノール樹脂の製造設備増強を決定
- 6月 宇部マテリアルズ(株)が日本タングステン(株)と  
世界最大径となる18インチMgOターゲット\*1を開発
- 7月 合成ゴムの製造設備増強を決定 **Topics 3**
- 8月 「UBEグループCSR報告書2010」を発行
- 9月 タイ国でカプロラクタムチェーン\*2強化を発表 **Topics 4**
- 9月 国内最大のハイブリッドセメントタンカー  
「興山丸」が就航 **Topics 5**

### Topics 1

化成品・樹脂

#### ブラジルに現地法人設立を決定



ウベ・ラテン・アメリカ社が入居するビル

当社は、UBEグループ製品の中南米における市場開拓の拠点として、2010年5月にブラジル・サンパウロ市にウベ・ラテン・アメリカ社を設立することを決定し、同年7月に設立しました。中南米地域については、経済成長の伸びや市場規模の今後の発展性から重要市場と位置づけています。中南米と経済的・文化的につながりの深いスペインで既に展開している事業拠点を活かし、ビジネスの拡大に注力してまいります。

### Topics 4

#### タイ国でカプロラクタムチェーン強化を発表

ウベ・ケミカルズ・アジア社(タイ国)で、ナイロン6樹脂の5万トンの新設備が10月から段階的に商業運転を開始しました。ナイロン6樹脂は、食品包装用フィルムから自動車部品まで幅広い用途で使用され、拡大するアジア市場で事業基盤を強化してまいります。同時に、原料となるカプロラクタムの2万トンの製造設備の増強を決定し、自家消費の増加に対応するとともに、アジア地域の外販におけるマーケットリーダーとしてのポジションを維持・強化してまいります。



ナイロン6樹脂の用途例



\*1 MgOターゲット 酸化マグネシウムを焼き固めた製品で、半導体原料の一部として使用されます。半導体の歩留まりに大きく影響するため要求される品質が厳しく、半導体の高性能化や大容量化に伴い、大口径で高品質の製品が求められています。

## Topics 2

機能品・ファイン

### スペインでポリカーボネートジオールの製造設備増強を決定



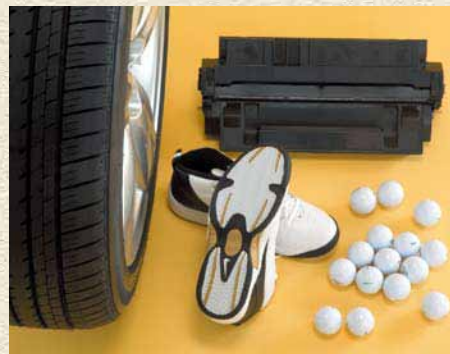
ポリカーボネートジオール製造設備(ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社)

当社は、ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社(スペイン)において、ポリカーボネートジオール製造設備の増強を決定しました。ポリカーボネートジオールは、主に高機能で耐久性に優れたポリウレタンの原料として使用され、また近年では、VOC(揮発性有機化合物)\*3規制の強化に対応した溶剤を含まない環境対応型水性塗料の原料としてもニーズが高く、今後の需要の拡大が見込まれます。

## Topics 3

化成品・樹脂

### 合成ゴムの製造設備増強を決定



ポリブタジエンゴムの用途例

当社は、日本や中国を始めとするアジア地域のポリブタジエンゴム(BR)の需要拡大に対応するため、千葉石油化学工場のBR製造設備の増強を決定しました。BRはタイヤ用途を中心に、耐衝撃性ポリスチレン、靴底などに使用され、特にタイヤ用途では大手タイヤメーカーの生産能力の拡大が進んでいます。これらの需要増大に対応し、収益の拡大を図ってまいります。

化成品・樹脂



ナイロン6樹脂新設備(ウベ・ケミカルズ・アジア社)



カプロラクタム製造設備(ウベ・ケミカルズ・アジア社)

**\*2 カプロラクタムチェーン** UBEグループの主力製品のひとつであるカプロラクタムを中心に、その原料のひとつであるアンモニアと、カプロラクタムを原料とするナイロン6樹脂もUBEグループで手掛けています。これらの一連の事業をカプロラクタムチェーンと称しています。

## Topics 5

建設資材

### 国内最大のハイブリッドセメントタンカー「興山丸」が就航



省エネ型セメント運搬船「興山丸」

宇部興産海運(株)が運航するセメント運搬船「興山丸」が就航しました。興山丸は、従来のディーゼルエンジンと電気推進システムを組み合わせたハイブリッド方式を採用した国内初の省エネ型セメント運搬船です。従来のディーゼルエンジン船よりも重油の消費量を減らせることで、CO<sub>2</sub>排出量を削減できると同時に、運搬コストの低減にもつながります。今後とも環境に配慮した取り組みやコスト削減などを通じて、セメント事業を強化してまいります。

**\*3 VOC(揮発性有機化合物)** トルエンなど常温常圧で大気中に揮発する有機化学物質の総称です。溶剤等に使われますが環境への負荷が大きく、シックハウス症候群の一因とも言われることから近年では排出削減のための規制が強化されています。

# 決算の概況(連結)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2010年3月31日現在)	当中間期 (2010年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>261,587</b>	<b>264,267</b>
現金及び預金	37,511	36,421
受取手形及び売掛金	133,522	130,087
たな卸資産	69,704	76,169
その他	20,850	21,590
<b>固定資産</b>	<b>393,171</b>	<b>385,256</b>
有形固定資産	324,732	316,779
無形固定資産	4,213	4,394
投資その他の資産	64,226	64,083
繰延資産	35	26
<b>資産合計</b>	<b>654,793</b>	<b>649,549</b>

主な科目	前期 (2010年3月31日現在)	当中間期 (2010年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>246,473</b>	<b>241,566</b>
支払手形及び買掛金	78,983	82,785
短期借入金	111,555	96,696
コマーシャル・ペーパー	-	5,000
1年内償還予定の社債	560	40
その他	55,375	57,045
<b>固定負債</b>	<b>206,130</b>	<b>207,270</b>
社債	15,140	15,120
長期借入金	152,954	155,082
退職給付引当金	7,246	7,072
その他	30,790	29,996
<b>負債合計</b>	<b>452,603</b>	<b>448,836</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>187,689</b>	<b>191,253</b>
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,445	28,444
利益剰余金	101,579	105,154
自己株式	△770	△780
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△8,850</b>	<b>△13,439</b>
新株予約権	318	353
少数株主持分	23,033	22,546
<b>純資産合計</b>	<b>202,190</b>	<b>200,713</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>654,793</b>	<b>649,549</b>

### POINT 1 流動資産

受取手形及び売掛金が34億円、現金及び預金が10億円減少しましたが、たな卸資産が64億円増加したことなどにより、前期末比26億円(1.0%)増加しました。

### POINT 2 負債

支払手形及び買掛金が38億円増加しましたが、有利子負債が82億円減少したことなどにより、前期末比37億円(0.8%)減少しました。

### POINT 3 純資産

利益剰余金が35億円増加しましたが、円高に伴い為替換算調整勘定が39億円減少したことなどにより、前期末比14億円(0.7%)減少しました。

### POINT 4 特別損失

資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額9億円などを計上しました。



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	(自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)
売上高	256,279	294,656
売上原価	213,390	240,207
売上総利益	42,889	54,449
販売費及び一般管理費	35,766	37,719
営業利益	7,123	16,730
営業外収益	2,907	3,678
営業外費用	7,519	6,694
経常利益	2,511	13,714
特別利益	175	636
特別損失	2,280	1,671
税金等調整前中間純利益	406	12,679
法人税等	519	4,811
少数株主利益又は損失(△)	△39	265
中間純利益又は損失(△)	△74	7,603

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	(自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,583	24,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,404	△12,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,147	△12,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	298	△842
現金及び現金同等物の増減額	△1,670	△1,073
現金及び現金同等物の期首残高	39,131	37,281
現金及び現金同等物の中間期末残高	37,461	36,208

## 連結株主資本等変動計算書 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	58,435	28,445	101,579	△770	187,689	△8,850	318	23,033	202,190
中間期中の変動額									
剰余金の配当			△4,028		△4,028				△4,028
中間純利益			7,603		7,603				7,603
自己株式の取得				△12	△12				△12
自己株式の処分		△1		2	1				1
株主資本以外の項目の中間期中の変動額(純額)						△4,589	35	△487	△5,041
中間期中の変動額合計		△1	3,575	△10	3,564	△4,589	35	△487	△1,477
中間期末残高	58,435	28,444	105,154	△780	191,253	△13,439	353	22,546	200,713



CSR報告書は、皆様に一年間のCSR活動の結果と課題をわかりやすくお伝えしています。UBEグループでは、すべてのステークホルダーとの「共生」を実践するために、なによりもまず、地球規模での持続可能な発展を目指した環境への配慮が重要であると考えています。

今回の特集は、その一例として、地球環境に配慮した環境負荷低減のための特徴的な事業活動(「セメントのはなし」「マリン系香料のはなし」「リチウムイオン電池のはなし」「廃プラスチックのはなし」)を紹介しています。

「UBEグループCSR報告書2010」は <http://www.ube-ind.co.jp/japanese/ir/shiryou.htm> でダウンロードいただけます。  
 (お問合せ・資料請求先:CSR推進部 Tel:03-5419-6118 Fax:03-5419-6237)

## 会社概要

設立	1942(昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,606人(連結 11,123人)
連結対象会社	90社 (連結子会社 66社、持分法適用会社 24社)
ホームページアドレス	<a href="http://www.ube.co.jp">http://www.ube.co.jp</a>

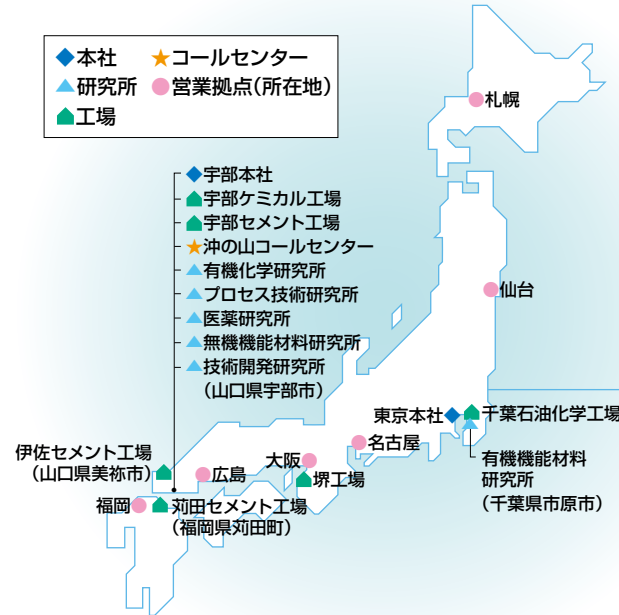
## 役員

(注) \*は取締役との兼務を示しています。

取締役 会長	田村 浩章	社長執行役員 *	竹下 道夫
代表取締役 社長	竹下 道夫	副社長執行役員 *	岡田 和彦
代表取締役	岡田 和彦	専務執行役員	高橋 信行
取締役	古川 陽道	専務執行役員 *	古川 陽道
取締役	梅津 誠	専務執行役員	関谷 一眞
社外取締役	松本 善臣	専務執行役員	山本 謙
社外取締役	元田 充隆	常務執行役員	チャルニャピットクン
		常務執行役員 *	梅津 誠
常任監査役(常勤)	樫部 正樹	常務執行役員	杉下 秀幸
常任監査役(常勤)	山中 和郎	常務執行役員	渡邊 史信
常任監査役(常勤)	藤岡 啓介	常務執行役員	妙中 信之
監査役	藤田 光博	執行役員	久保田 隆昌
		執行役員	杉瀬 良二
		執行役員	六角 朋生
		執行役員	松波 正
		執行役員	大原 真二
		執行役員	上田 淳
		執行役員	木内 政行
		執行役員	糸口 栄一
		執行役員	平井 雅典
		執行役員	三隅 淳一
		執行役員	泉原 雅人

## 主な事業所

### 国内拠点



### 部門別主要連結対象会社

化成系・樹脂部門	建設資材部門
宇部フィルム(株)	宇部興産海運(株)
タイ・シンセティック・ラバース社(タイ国)	大協企業(株)
宇部アンモニア工業(有)	萩森興産(株)
ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社(スペイン)	ウベボード(株)
ウベ・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	宇部建設資材販売(株)
ウベ・エンジニアリング・プラスチック社(スペイン)	(株)関東宇部ホールディングス
	宇部マテリアルズ(株)
	山石金属(株)
	宇部三菱セメント(株)*
機能系・ファイン部門	機械・金属成形部門
宇部日東化成(株)	宇部興産機械(株)
明和化成(株)	ウベ・マシンリー社(米国)
ユー・イー・エル(株)	宇部テクノエンジニア(株)
ウベ・ファイン・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	(株)宇部スチール
	(株)福島製作所
	宇部興産ホイール(株)
エネルギー・環境部門	その他の部門
宇部シーアンドエー(株)	ウベ・アメリカ社(米国)
	ウベ・コーポレーション・ヨーロッパ社(スペイン)
	ウベ・ホンコン社(中国)

\*持分法適用会社

### 海外拠点 (主要な海外子会社の所在地)



## 株式の状況

発行可能株式総数 3,300,000,000株  
 発行済株式の総数 1,007,107,242株 (自己株式2,057,764株を除く)  
 株主数 81,738名

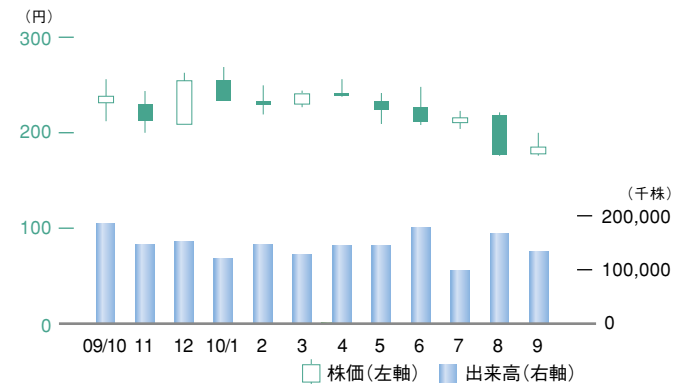
### 大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	98,157	9.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	69,018	6.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	20,862	2.07
日本生命保険相互会社	20,000	1.99
住友生命保険相互会社	20,000	1.99
全国共済農業協同組合連合会	18,260	1.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	17,801	1.77
野村信託銀行株式会社(投信口)	15,758	1.56
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,500	1.34
株式会社みずほコーポレート銀行	12,487	1.24

## 配当金推移

1株当たり配当金	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
	3.0円	4.0円	5.0円	4.0円	4.0円	5.0円 (期末配当予定)

## 株価及び出来高 (東京証券取引所)



# Information

## 単元未満株式（当社では1,000株未満の株式）の買取・買増制度について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっておりますので、単元未満株式をお持ちの株主様につきましては、端数となっております株式が整理できる買取・買増制度を設けております。証券会社等にお持ちの口座に単元未満株式がございます場合には、お取引証券会社等へお申し出ください。

**買取請求とは** 株主様がご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

**買増請求とは** 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行 証券代行部（電話0120-232-711）へお申し出ください。

UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という創業の理念を踏まえ、下記のグループビジョンを掲げ、機能性材料や環境負荷の低い製品・技術など、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造していきます。

## UBEグループビジョン

**技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。**

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 6月下旬
- 基準日  
定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
- 公告の方法 電子公告  
<http://www.ube.co.jp>
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(同連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

### 【株式に関するお手続きについて】

1. 単元未満株式の買取・買増、住所・氏名等のご変更、株式の口座振替請求、配当金受取方法の指定等のお申出先原則、株主様が口座を開設されているお取引証券会社等にて手続きをお取りください。  
ただし、証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行 証券代行部にて手続きをお取りください。
2. 未払配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問合せ  
株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。

**宇部興産株式会社** ■東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館  
■宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。  
実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おください。



文化庁登録第17298号の1



本書は、FSC™の認証紙を使用し、塩素化合物の排出を最小限に抑えたECF（無塩素漂白）パルプから製造された用紙と、植物油インキを使用しています。